

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年11月12日
【四半期会計期間】	第34期第2四半期（自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日）
【会社名】	株式会社フライングガーデン
【英訳名】	FLYING GARDEN CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 野沢 八千万
【本店の所在の場所】	栃木県小山市本郷町三丁目4番18号
【電話番号】	0285（30）4129（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役財務部長 片柳 紀之
【最寄りの連絡場所】	栃木県小山市本郷町三丁目4番18号
【電話番号】	0285（30）4129（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役財務部長 片柳 紀之
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第33期 第2四半期 累計期間	第34期 第2四半期 累計期間	第33期
会計期間	自平成25年 4月1日 至平成25年 9月30日	自平成26年 4月1日 至平成26年 9月30日	自平成25年 4月1日 至平成26年 3月31日
売上高 (千円)	3,507,744	3,613,116	6,928,935
経常利益 (千円)	66,906	81,051	98,166
四半期純利益又は当期純損失 () (千円)	21,749	33,428	31,709
持分法を適用した場合の投資利益 (千円)	-	-	-
資本金 (千円)	579,900	579,900	579,900
発行済株式総数 (株)	1,449,168	1,449,168	1,449,168
純資産額 (千円)	1,212,296	1,148,846	1,158,786
総資産額 (千円)	3,532,533	3,337,164	3,394,009
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり当期純損失金額 () (円)	15.04	23.12	21.93
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
1株当たり配当額 (円)	-	-	30.00
自己資本比率 (%)	34.3	34.4	34.1
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	89,963	154,183	271,074
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	91,200	40,130	88,831
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	197,248	109,399	362,992
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	225,619	243,270	238,617

回次	第33期 第2四半期 会計期間	第34期 第2四半期 会計期間
会計期間	自平成25年 7月1日 至平成25年 9月30日	自平成26年 7月1日 至平成26年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	19.16	19.75

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成していませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については記載していません。
2. 売上高には、消費税等を含んでいません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、第33期は当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため、第33期第2四半期及び第34期第2四半期は潜在株式が存在しないため記載していません。

2【事業の内容】

当第2四半期累計期間において、当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期会計期間において、経営上の重要な契約の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中における将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであり、将来に関する事項には、不確実性を内在あるいは、リスクを含んでいるため、将来生じる実際の結果と大きく異なる可能性もあります。

(1) 業績の状況

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融政策により、円安・株高の継続、企業業績の改善及び所得環境・雇用情勢の好転により、全体的に緩やかな景気回復傾向となりました。一方で、消費税増税の影響や新興国経済の停滞など、依然として先行きは不透明な状況となっております。

外食業界におきましては、業態間でばらつきはあるものの、消費税増税の影響は限定的でした。しかしながら、円安等による原材料価格の上昇や人手不足を背景とした人件費高騰など依然として経営環境は厳しい状況となっております。

このような環境下で、当社は高付加価値でお値打ち感のあるメニューや季節のデザートメニューの投入等に取り組んでまいりました。

出退店につきましては、当第2四半期累計期間中に2店舗閉店しましたので、当第2四半期末の店舗数は65店舗となりました。

当第2四半期累計期間の業績につきましては、夏の「厚切りアングラスサーロインステーキセット」の投入や「奥秩父天然水氷のかき氷」等のデザートフェアなどが奏功し、売上高は3,613,116千円(前年同期比3.0%増)となりました。利益面では原材料価格やパート・アルバイト時給の上昇などはありましたが、当第2四半期累計期間の営業利益は85,002千円(前年同期比34.1%増)、経常利益は81,051千円(前年同期比21.1%増)、四半期純利益は33,428千円(前年同期比53.7%増)と増収増益となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前事業年度末と比べて4,653千円増加し、243,270千円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期累計期間における営業活動の結果、獲得した資金は154,183千円(前年同期比71.4%増)となりました。これは主に税引前四半期純利益85,346千円及び減価償却費91,034千円を計上したことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期累計期間における投資活動の結果、使用した資金は40,130千円(前年同期は91,200千円の獲得)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出55,516千円及び無形固定資産の取得による支出18,732千円を計上したことによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期累計期間における財務活動の結果、使用した資金は109,399千円(前年同期比44.5%減)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出163,138千円を計上したことによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期累計期間において、当社が対応すべき課題において重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

(5) 主要な設備

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	4,000,000
計	4,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成26年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成26年11月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	1,449,168	同左	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	(注)
計	1,449,168	同左	-	-

(注)完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり、単元株式数は100株であります。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成26年7月1日～ 平成26年9月30日	-	1,449,168	-	579,900	-	496,182

(6) 【大株主の状況】

平成26年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
野沢八千万	群馬県桐生市	416,390	28.73
有限会社アクティブ	群馬県桐生市新宿1丁目11-8	120,960	8.35
フライング・ガーデン持株会	栃木県小山市本郷町3丁目4-18	74,816	5.16
野沢卓史	栃木県小山市	66,124	4.56
野沢通子	群馬県桐生市	54,144	3.74
野沢良史	群馬県桐生市	51,724	3.57
綾羽静江	徳島県鳴門市	29,300	2.02
株式会社足利銀行	栃木県宇都宮市桜4丁目1-25	28,800	1.99
若杉精三郎	大分県別府市	14,500	1.00
株式会社群馬銀行	群馬県前橋市元総社町194番地	14,400	0.99
計	-	871,158	60.11

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成26年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 3,500	-	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 1,426,300	14,263	同上
単元未満株式	普通株式 19,368	-	同上
発行済株式総数	1,449,168	-	-
総株主の議決権	-	14,263	-

【自己株式等】

平成26年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社フライングガーデン	栃木県小山市本郷町三丁目4番18号	3,500	-	3,500	0.24
計	-	3,500	-	3,500	0.24

2【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

役職の異動

新役名	新職名	旧役名	旧職名	氏名	異動年月日
常務取締役	営業本部長	常務取締役	-	長野 令	平成26年7月1日
常務取締役	営業支援本部長兼 社長室長	常務取締役	社長室長	野沢 卓史	平成26年7月1日

第4【経理の状況】

1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第2四半期累計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期財務諸表について監査法人A&Aパートナーズによる四半期レビューを受けております。

3．四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表は作成しておりません。

1【四半期財務諸表】

(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	470,617	463,270
売掛金	32,286	28,373
商品及び製品	2,430	2,941
原材料及び貯蔵品	36,351	37,800
その他	113,585	120,211
流動資産合計	655,271	652,597
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,502,569	3,518,537
構築物	828,070	829,999
その他	915,408	954,330
減価償却累計額及び減損損失累計額	3,657,475	3,734,142
有形固定資産合計	1,588,572	1,568,725
無形固定資産		
投資その他の資産	186,802	200,211
投資その他の資産		
差入保証金	466,246	448,531
その他	532,232	500,439
貸倒引当金	35,116	33,340
投資その他の資産合計	963,363	915,630
固定資産合計	2,738,737	2,684,567
資産合計	3,394,009	3,337,164
負債の部		
流動負債		
買掛金	214,716	208,924
短期借入金	200,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	296,926	292,417
未払金	268,840	264,382
未払法人税等	51,940	31,420
ポイント引当金	10,600	11,100
賞与引当金	31,002	28,620
その他	114,328	160,386
流動負債合計	1,188,354	1,097,250
固定負債		
長期借入金	622,514	663,885
退職給付引当金	105,692	103,880
役員退職慰労引当金	150,516	152,640
資産除去債務	120,044	121,272
その他	48,102	49,388
固定負債合計	1,046,868	1,091,067
負債合計	2,235,222	2,188,318

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	579,900	579,900
資本剰余金	496,182	496,182
利益剰余金	88,261	78,321
自己株式	5,556	5,556
株主資本合計	1,158,786	1,148,846
純資産合計	1,158,786	1,148,846
負債純資産合計	3,394,009	3,337,164

(2)【四半期損益計算書】

【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	3,507,744	3,613,116
売上原価	1,118,190	1,209,759
売上総利益	2,389,554	2,403,356
販売費及び一般管理費	2,326,187	2,318,354
営業利益	63,367	85,002
営業外収益		
受取利息	1,532	1,332
受取賃貸料	18,986	18,866
その他	8,938	4,613
営業外収益合計	29,457	24,812
営業外費用		
支払利息	9,305	7,573
賃貸収入原価	14,239	14,002
その他	2,374	7,186
営業外費用合計	25,918	28,762
経常利益	66,906	81,051
特別利益		
固定資産売却益	-	2,000
受取保険金	-	2,294
特別利益合計	-	4,294
税引前四半期純利益	66,906	85,346
法人税、住民税及び事業税	22,197	23,348
法人税等調整額	22,959	28,569
法人税等合計	45,157	51,917
四半期純利益	21,749	33,428

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	66,906	85,346
減価償却費	96,602	91,034
貸倒引当金の増減額(は減少)	1,989	1,776
ポイント引当金の増減額(は減少)	30	500
賞与引当金の増減額(は減少)	2,082	2,382
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	2,628	2,124
退職給付引当金の増減額(は減少)	716	1,811
受取利息及び受取配当金	1,532	1,332
支払利息	9,305	7,573
固定資産売却損益(は益)	-	2,000
受取保険金	-	2,294
売上債権の増減額(は増加)	7,032	3,912
たな卸資産の増減額(は増加)	3,827	1,959
仕入債務の増減額(は減少)	38,574	5,792
未払金の増減額(は減少)	23,840	4,994
未払費用の増減額(は減少)	6,769	2,227
未払消費税等の増減額(は減少)	29,280	28,910
その他	10,628	7,617
小計	136,797	204,904
利息及び配当金の受取額	40	18
利息の支払額	8,965	7,271
法人税等の支払額	37,928	43,468
法人税等の還付額	19	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	89,963	154,183
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	106,000	106,000
定期預金の払戻による収入	193,000	118,000
有形固定資産の取得による支出	3,835	55,516
有形固定資産の売却による収入	-	2,000
無形固定資産の取得による支出	10,318	18,732
差入保証金の差入による支出	-	57
差入保証金の回収による収入	18,942	18,386
その他	588	1,789
投資活動によるキャッシュ・フロー	91,200	40,130
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	90,000	100,000
長期借入れによる収入	100,000	200,000
長期借入金の返済による支出	156,742	163,138
リース債務の返済による支出	4,638	1,543
自己株式の取得による支出	27	-
配当金の支払額	45,841	44,717
財務活動によるキャッシュ・フロー	197,248	109,399
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	16,085	4,653
現金及び現金同等物の期首残高	241,704	238,617
現金及び現金同等物の四半期末残高	225,619	243,270

【注記事項】

(四半期損益計算書関係)

販売費及び一般管理費の主な内訳

	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
消耗品費	116,472千円	120,074千円
給料・賞与	345,581	343,105
賞与引当金繰入額	31,002	28,620
雑給与	755,000	760,217
役員退職慰労引当金繰入額	2,628	2,124
退職給付費用	5,657	4,769
地代家賃	274,253	275,544
水道光熱費	275,649	274,638
減価償却費	76,065	73,117

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
現金及び預金勘定	445,618千円	463,270千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	219,999	220,000
現金及び現金同等物	225,619	243,270

(株主資本等関係)

前第2四半期累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月25日 定時株主総会	普通株式	43,371	30.0	平成25年3月31日	平成25年6月26日	利益剰余金

当第2四半期累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年6月25日 定時株主総会	普通株式	43,367	30.0	平成26年3月31日	平成26年6月26日	利益剰余金

(金融商品関係)

当第2四半期会計期間末において、金融商品の四半期貸借対照表計上額その他の金額に前事業年度の末日に比べて著しい変動が認められませんので、記載を省略しております。

(有価証券関係)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、ファミリーレストラン事業の単一セグメントでありますので、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	15円4銭	23円12銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	21,749	33,428
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	21,749	33,428
普通株式の期中平均株式数(株)	1,445,704	1,445,596

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年11月6日

株式会社フライングガーデン

取締役会 御中

監査法人 A & A パートナーズ

指 定 社 員 公 認 会 計 士 笹 本 憲 一 印
業 務 執 行 社 員

指 定 社 員 公 認 会 計 士 岡 賢 治 印
業 務 執 行 社 員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社フライングガーデンの平成26年4月1日から平成27年3月31日までの第34期事業年度の第2四半期会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第2四半期累計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書、四半期キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社フライングガーデンの平成26年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。